

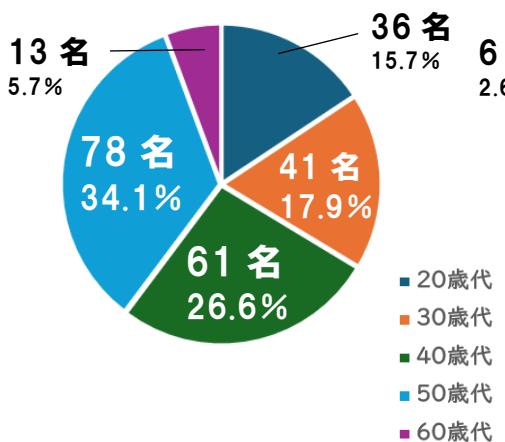


あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、年度末に向け、今年度のまとめや新年度の準備を進められていることと存じます。

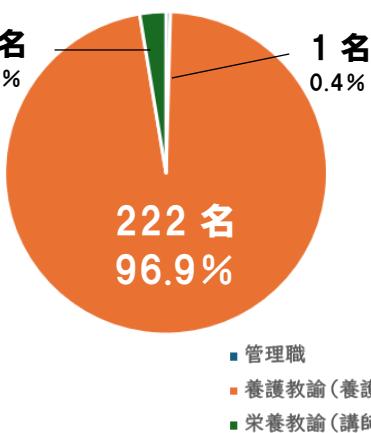
さて、11月には、会場やオンラインそれぞれの場所から、養護教員研究大会へ御参加いただき、ありがとうございました。大会アンケート結果を御報告させていただきます。

令和7年度 第46回愛媛県養護教員研究大会 アンケート報告

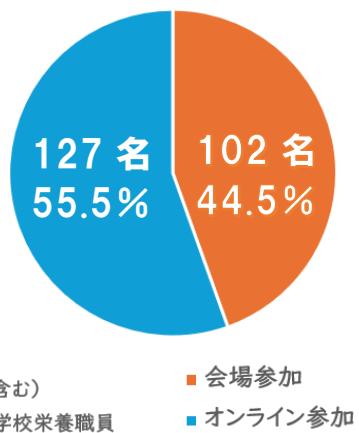
年齢



職種



参加形態

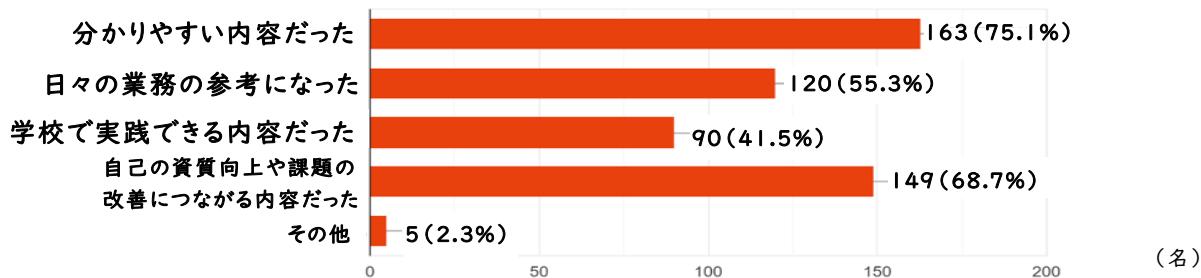


I 講演

◊ 備え大丈夫? 東日本大震災の経験から災害を考える

講師:宮城大学 看護学群 准教授 金野 智津 様

講演について、当てはまるものを選んでください。(複数回答)



〈参加者の感想〉

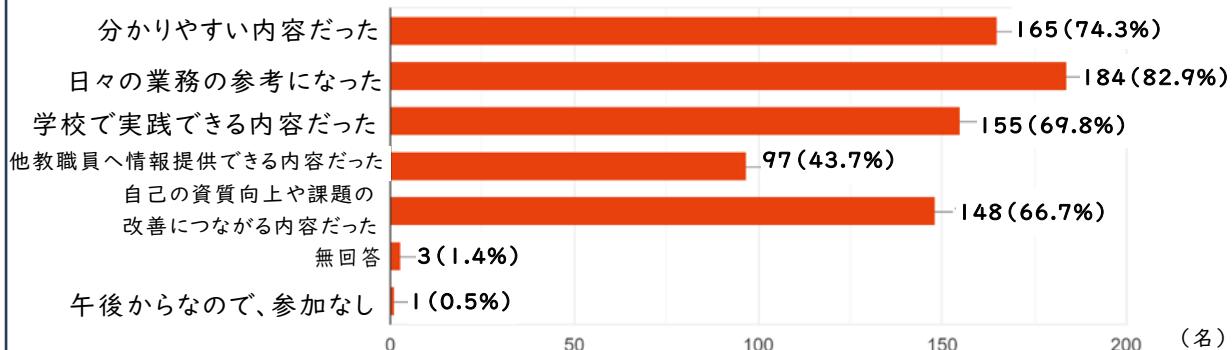
- 愛媛県も他人事ではなく、南海トラフ地震が近い将来起こることを考えると、いろいろ備えなければいけないと危機感を抱きました。
- 被災地で実際に勤務していた方の体験を聞き、自然災害の恐ろしさと、どのように生活を送っていたのかを知ることができた貴重な機会でした。どんなに大変な状況でも自他の命を守るために教育や備えが不可欠であり、繰り返し学んで見直すことが大切だと強く感じました。

2 支部発表

- ◊ 頭部外傷発生時に養護教諭が感じる困難を解消するための手立て
—「頭部外傷チェックリスト」の活用を通して—

発表者:新居浜市立中萩中学校 篠原 美和子 先生

支部発表について、当てはまるものを選んでください。(複数回答)



〈参加者の感想〉

- 頭部外傷チェックリストがあることで、症状を見落とすことなく、判断に根拠を持つことができるのではないかと思いました。私も活用したいです。
- 養護教諭の誰もが悩む頭部外傷の事例を取り上げてください、とても勉強になりました。
- 頭部外傷チェックリストを作るだけではなく、複数人で実際に使用して検証していたことや、外部の協力を得ながら作成していたことがとても良いと感じました。今回得た知識とチェックリストを取り入れて、自信を持って対応に当たりたいと思います。

～第46回愛媛県養護教員研究大会を終えて～

副部長(南予) 宇和島市立吉田中学校 岡田 久美

今年度も、本研究大会を会場参加140名、オンライン参加161名と、多くの皆様に御参加いただき、ハイブリッド形式で開催いたしました。

支部発表では、すべての養護教諭が直面するであろう、頭部外傷における救急処置の困難解消をテーマにした実践的な研究が発表されました。新居浜支部の養護教諭が悩みを共有し、専門家のアドバイスをいただきながら作成されたチェックリストは、救急処置への不安を具体的に軽減する確かな手立てとなります。この貴重な研究成果に、心より感謝申し上げます。

また、金野智津先生からは、東日本大震災の経験に基づく、危機管理と災害への備えについて深く考えさせられる御講演をいただきました。地震や救急対応は「いつ起こるかわかりません」。だからこそ、養護教諭として自身の災害への備えを今一度見直す機会であったと感じています。

日々緊張感を持って職務をこなす養護教諭は、まさしく尊敬に値する専門職です。その責任を果たすためにも、知識のアップデートは必要不可欠です。この研究大会を機に、これからも学びを深め、確かな自信へとつなげていきましょう。

—令和8年度 愛媛県養護教員研究大会 お知らせ—

- * 期日 令和8年11月20日(金) 予定
* 会場 エスピワール愛媛文教会館
* 講演 演題:「未定」
講師:元山口県養護教諭 思春期保健相談士 池岡 幸恵 先生

